



CellSource

事業計画及び成長可能性に関する事項

セルソース株式会社

2023年1月31日



会社概要



事業内容

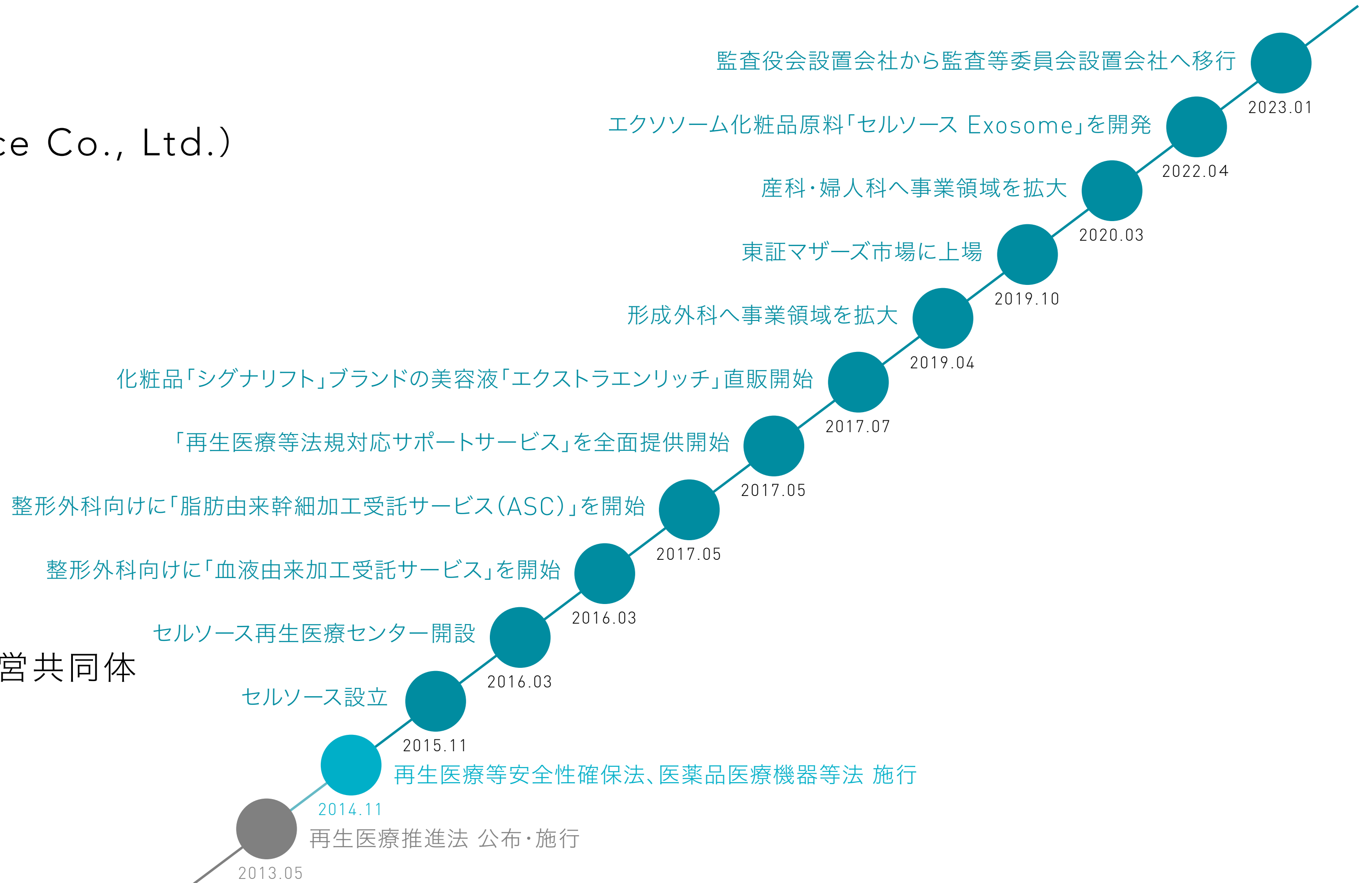


成長戦略



認識するリスク
及び対応策

会社名	セルソース株式会社 (CellSource Co., Ltd.)
所在地	東京都渋谷区渋谷1-19-5
設立年月日	2015年11月30日
代表者	裙本 理人
決算月	10月
従業員数	109名 (2022年10月31日現在)
事業内容	再生医療関連事業
加盟団体等	日本再生医療学会 再生医療産業活性化推進事業運営共同体 日本バイオテック協議会 日本ブロックチェーン協会





代表取締役社長CEO

裾本 理人 Masato Tsumamoto

2005年 神戸大学発達科学部 卒業

2005年 住友商事株式会社 入社

2007年 ロシア サンクトペテルブルグ大学 留学

2011年 ロシア プラスタン 駐在

2015年 セルソース株式会社 設立 代表取締役社長CEO(現任)

すべての人生に、再生医療を。

再生医療は、いよいよ「研究」から、「治療」の段階へ。

人生は、100年時代へ突入します。

生きる時間がふえたとき、問われるのは、健康な時間の長さ。

それは再生医療がカギをにぎる分野です。

セルソースは、厚生労働省の許可を得て

医療機関さま・研究機関さまと連携し、

誰もが利用できる最先端のプラットフォームをつくりました。

これからの再生医療は、可能性のかたまり。

人類に、治療の新時代がはじまります。

夢は現実へ。

新たな法律による「ゲーム・スタート」、新たな産業・事業創設のチャンスとして創業

再生医療推進法施行

2013

研究区分

治療区分

再生医療等安全性確保法

リスクに応じた再生医療等の提供計画の提出を義務づける
従来、医療機関にて行われていた細胞加工の外部委託を可能に

再生医療市場誕生

2014

医薬品・化粧品・医療機器の製造販売

医薬品医療機器等法

従来の「薬事法」を改正し、「再生医療等製品」を新たに定義
再生医療等製品に限り、一定の条件を満たすことで、
厚生労働大臣が早期に製造販売承認を与える事が可能に

セルソース創業

2015

1. 会社概要〔ガバナンス体制〕



取締役
山川 雅之

1989年 鳥取大学医学部 卒業
1993年 聖心美容外科クリニック 開設(退任)
2007年 THE CLINIC 東京 開設(退任)
2015年 シリアルインキュベート株式会社 設立(現代表取締役)
セルソース株式会社 設立 代表取締役(退任)
2016年 東京ひざ関節症クリニック 開設(退任)
2022年 セルソース株式会社 取締役(現任)



社外取締役
村上 憲郎

1970年 京都大学工学部 卒業
1970年 日立電子株式会社(現 株式会社日立国際電気)入社
2003年 Google日本法人 代表取締役社長 兼 米国本社副社長
2009年 Google日本法人 名誉会長
2017年 セルソース株式会社 社外取締役(現任)
2021年 株式会社メルカリ 社外取締役(現任)



社外取締役
澤田 貴司

1981年 上智大学工学部 卒業
1981年 伊藤忠商事株式会社 入社
1998年 株式会社ファーストリテイリング 取締役副社長
2005年 株式会社リヴアンブ 設立 代表取締役社長
2016年 株式会社ファミリーマート 代表取締役社長
2021年 株式会社ファミリーマート 代表取締役副会長
2022年 セルソース株式会社 社外取締役(現任)
2022年 株式会社ロッテベンチャーズ・ジャパン 代表取締役(現任)



取締役
(常勤監査等委員)
雨宮 猛

1986年 京都大学経済学部 卒業
1986年 伊藤忠商事株式会社 入社
1999年 日本オンライン証券株式会社 入社
2008年 カブドットコム証券株式会社
(現 auカブコム証券株式会社) 専務執行役 CFO
2017年 セルソース株式会社 取締役CFO
2023年 セルソース株式会社 取締役(常勤監査等委員)(現任)



社外取締役
(監査等委員)
藤沢 久美

1989年 大阪市立大学生活科学部 卒業
1995年 株式会社アイフィス設立 代表取締役
2004年 一般社団法人投資信託協会理事(現任)
2011年 日本証券業協会公益理事(現任)
2013年 株式会社静岡銀行 社外取締役(現任)
2013年 株式会社ソフィアバンク代表取締役
2014年 豊田通商株式会社 社外取締役(現任)
2018年 公益社団法人日本プロサッカーリーグ理事(現任)
2020年 早稲田大学大学院スポーツ科学研究科修士課程修了
2021年 セルソース株式会社 社外取締役
2022年 株式会社国際社会経済研究所理事長(現任)
2023年 セルソース株式会社 社外取締役(監査等委員)(現任)



社外取締役
(監査等委員)
尾崎 恒康

1994年 東京大学法学部第一類 卒業、司法研修所(48期)
1999年 東京地方検察庁特別捜査部 検事
2003年 法務省大臣官房訟務部門行政訟務課付
2004年 総務省行政管理局企画調整課行政手続室 課長補佐
2008年 西村あさひ法律事務所 パートナー弁護士
2013年 弁護士法人西村あさひ法律事務所 福岡事務所代表(現任)
2014年 東ソー株式会社 社外監査役(現任)
2016年 株式会社高田工業所 ガバナンス委員会委員長
2019年 セルソース株式会社 監査役
2023年 セルソース株式会社 社外取締役(監査等委員)(現任)

様々な大学・行政機関と提携し、事業に取り組む

大阪大学

- ・ 2019年8月、「エクソソーム」*を含む細胞分泌物を用いる治療法確立を目的とした共同研究契約を締結
- ・ 2020年12月、「エクソソーム」*を含む細胞分泌物「セクレトーム」を用いた慢性閉塞性肺疾患(COPD)治療を目的とした共同研究を締結

順天堂大学

- ・ 2020年11月に難治性のスポーツ外傷・障害及び要介護の主因となっている変形性関節症などの運動器疾患の新規治療を開発することにより、健康寿命の延伸を目指す共同研究講座「スポーツ医学・再生医療講座」を開設
- ・ 2020年12月より、当社の「脂肪由来幹細胞加工受託サービス」が、順天堂大学医学部附属 順天堂医院にて採用
- ・ 2021年6月より、「エクソソーム」*を含む細胞分泌物(セクレトーム)を用いた、脳梗塞後遺症・パーキンソン病における新規治療開発についての共同研究を開始

*細胞から分泌される直径50-150nmの細胞外小胞。細胞間・組織間の情報伝達に使われており、細胞に対し様々なはたらきを持ちます。疾病治療、疾病診断のバイオマーカーとしての活用が世界的に注目されております。

様々な大学・行政機関と提携し、事業に取り組む

横浜市立大学

2019年4月より、当社の「脂肪由来幹細胞加工受託サービス」が横浜市立大学附属市民総合医療センター 形成外科にて採用

富山大学

2020年3月より、当社の「脂肪由来幹細胞加工受託サービス」が富山大学附属病院の乳がん先端治療・乳房再建センターにて採用

大阪府

2019年11月、再生医療をベースとした「未来医療国際拠点」全体をオーガナイズする「未来医療推進機構」の設立者として参画



会社概要



事業内容

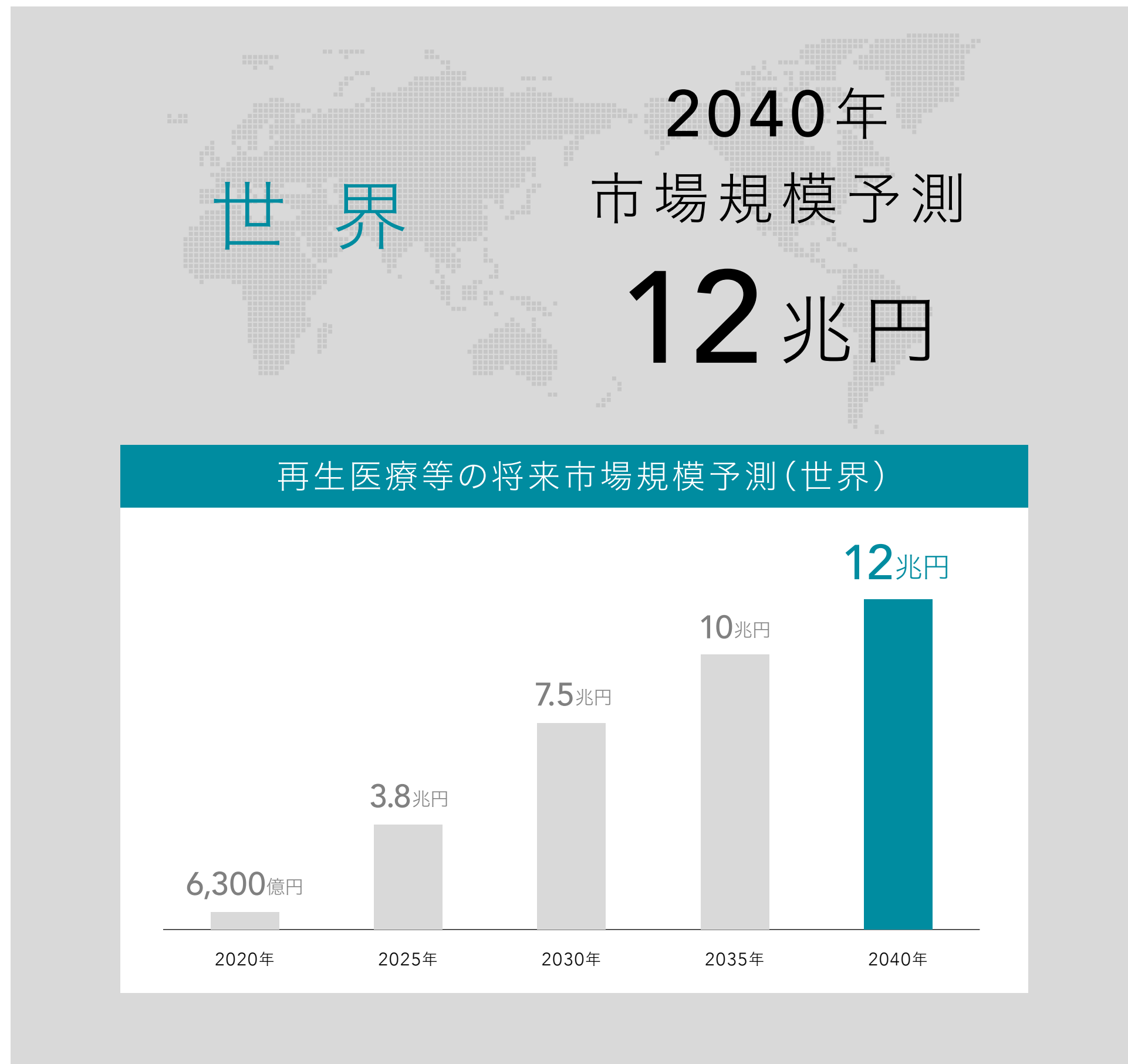


成長戦略



認識するリスク
及び対応策

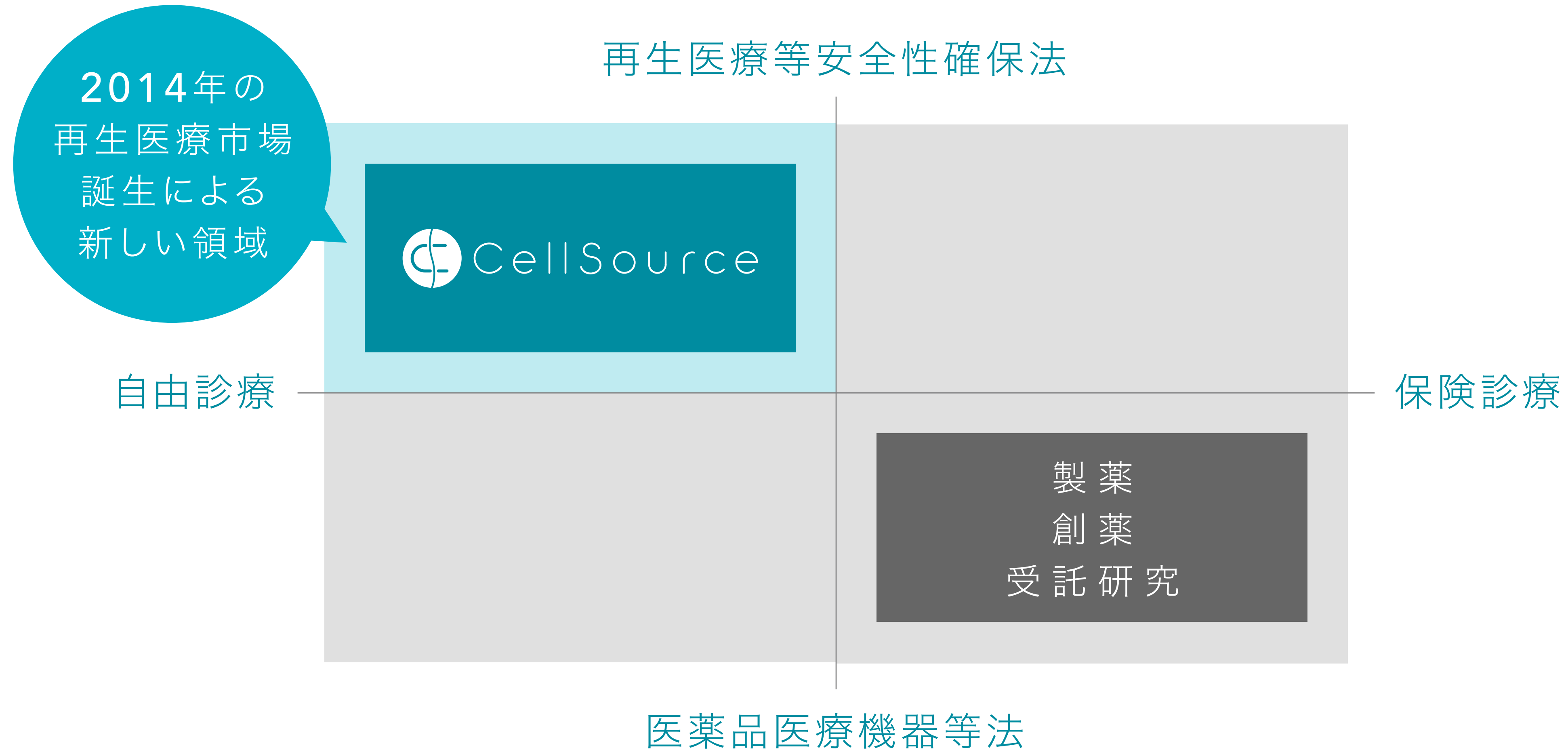
周辺産業を含め潜在的に大きな成長市場



出典：令和2年9月、第1回再生・細胞医療・遺伝子治療開発協議会、議事資料

2. 事業内容〔再生医療関連事業の事業領域〕

新しくできた領域で大きく先行。同領域のリーディングカンパニーを目指す



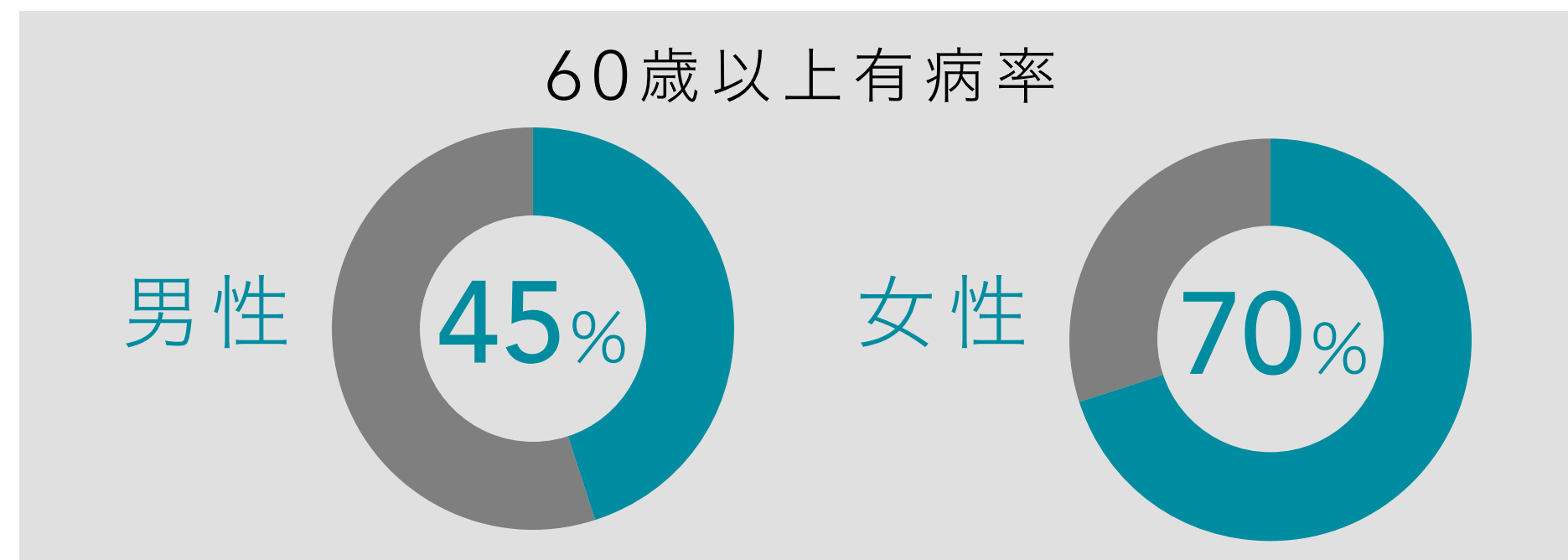
主な対象疾患は『変形性膝関節症』。患者数は増加傾向

変形性膝関節症とは

変形性膝関節症は、膝のクッションの役割を果たす軟骨が、加齢や肥満等の様々な原因により磨り減ることで負担がかかり、膝関節に炎症を起こす病気です。



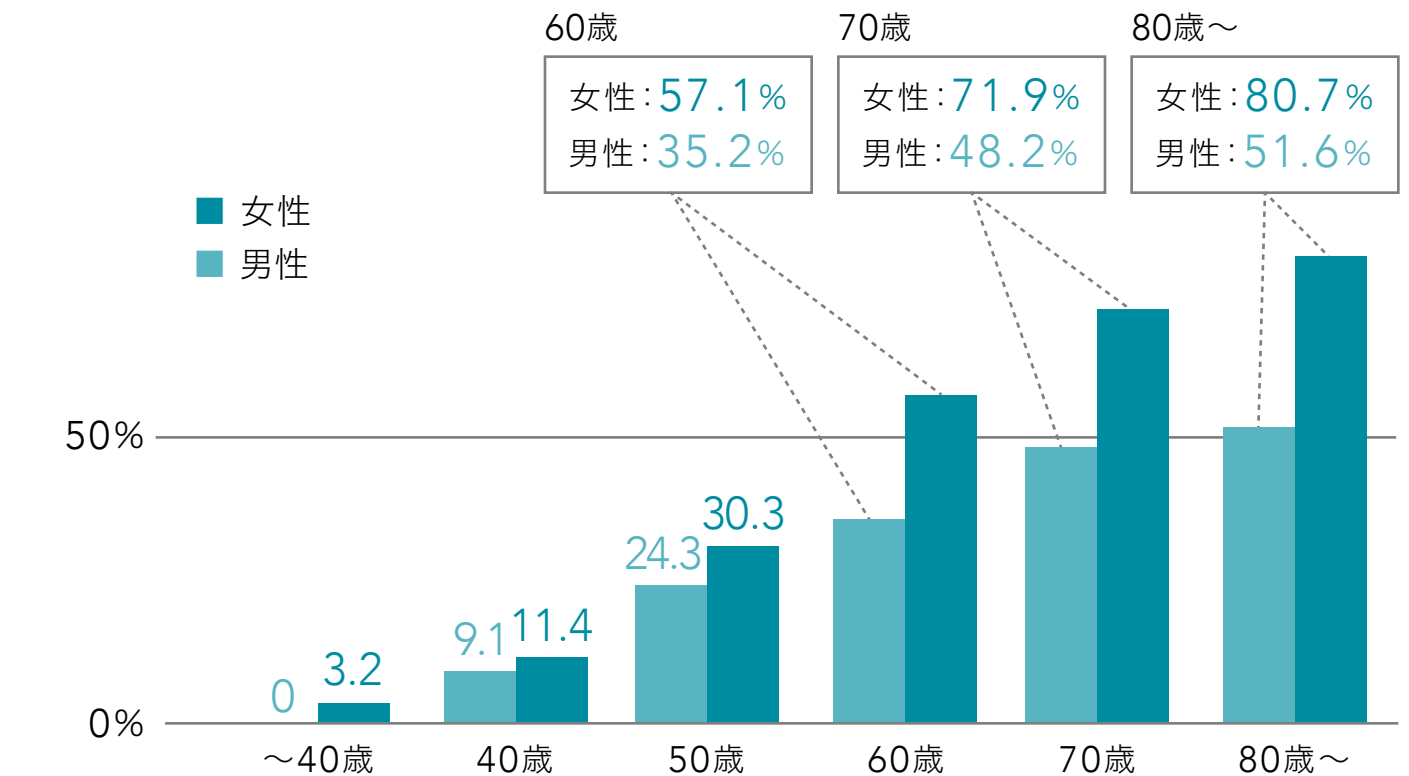
Yoshimura N, et al., J Bone Miner Metab 27: 620-628, 2009



「Yoshimura N, et al., J Bone Miner Metab 27: 620-628, 2009」より当社算出

変形性膝関節症の有病率

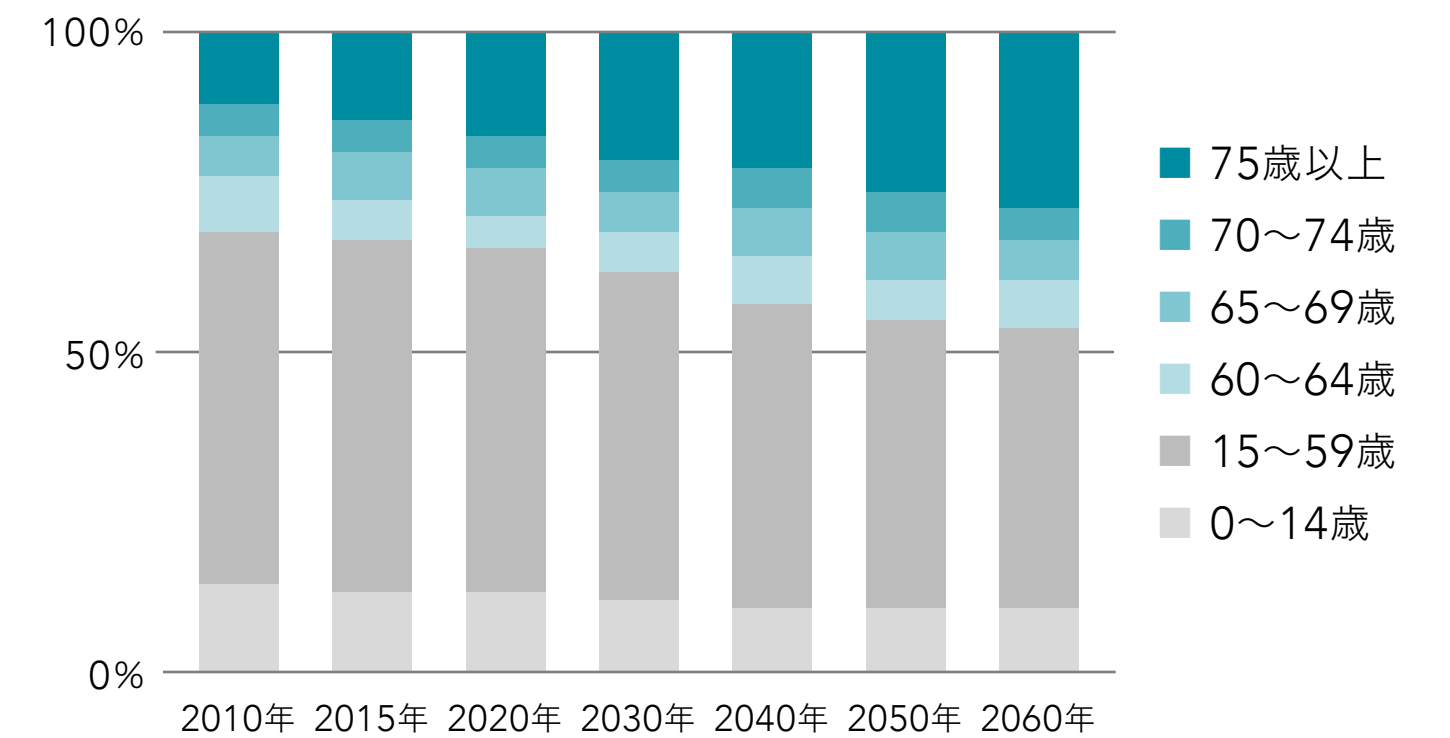
高齢者に多く発症



Yoshimura N, et al., J Bone Miner Metab 27: 620-628, 2009

年齢区分別人口比率推計

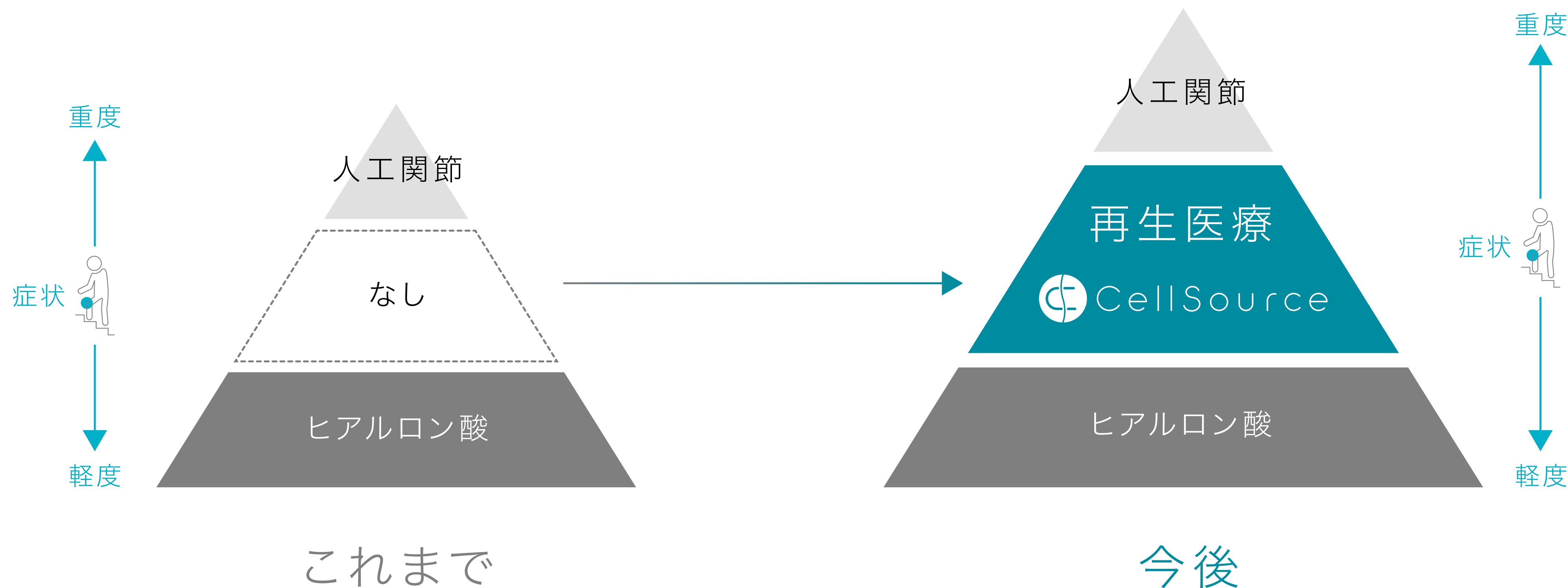
2060年
約50%が
60歳以上



2010年は総務省「国勢調査」、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果

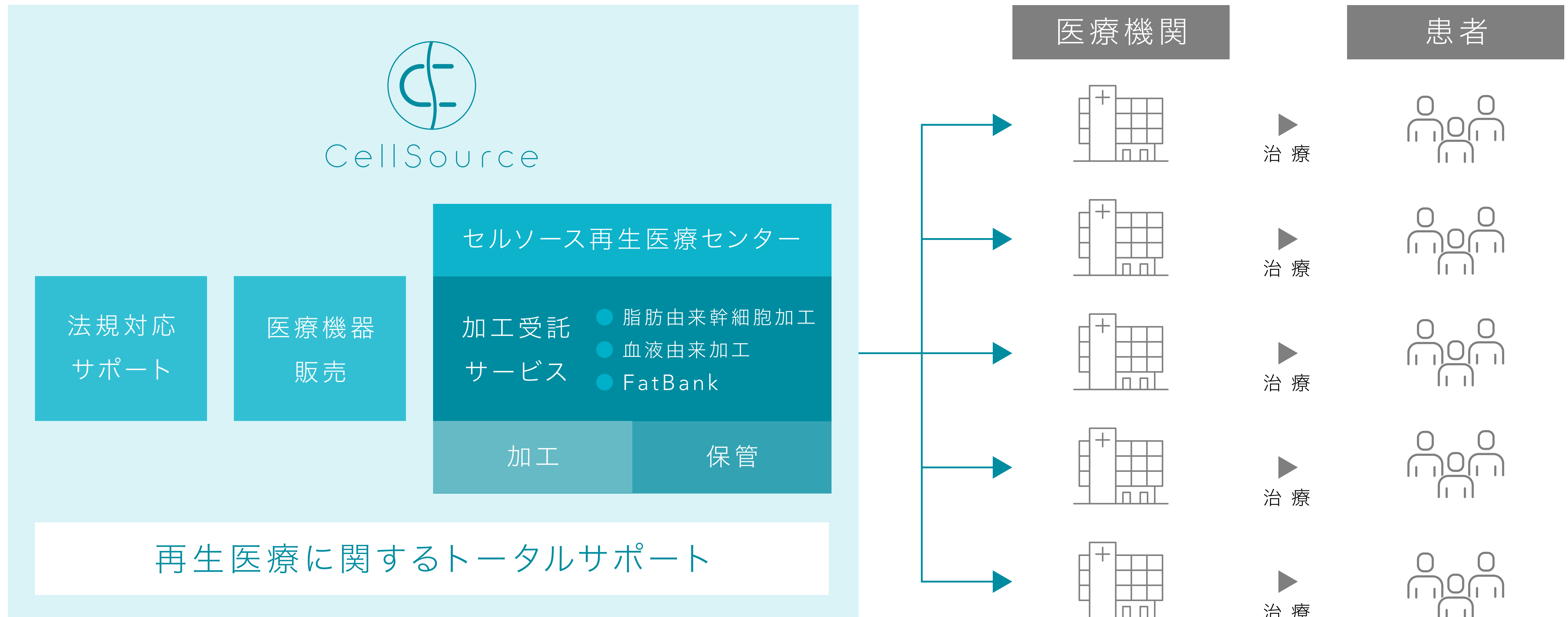
新たな治療として再生医療が選択肢に

治療ニーズイメージ



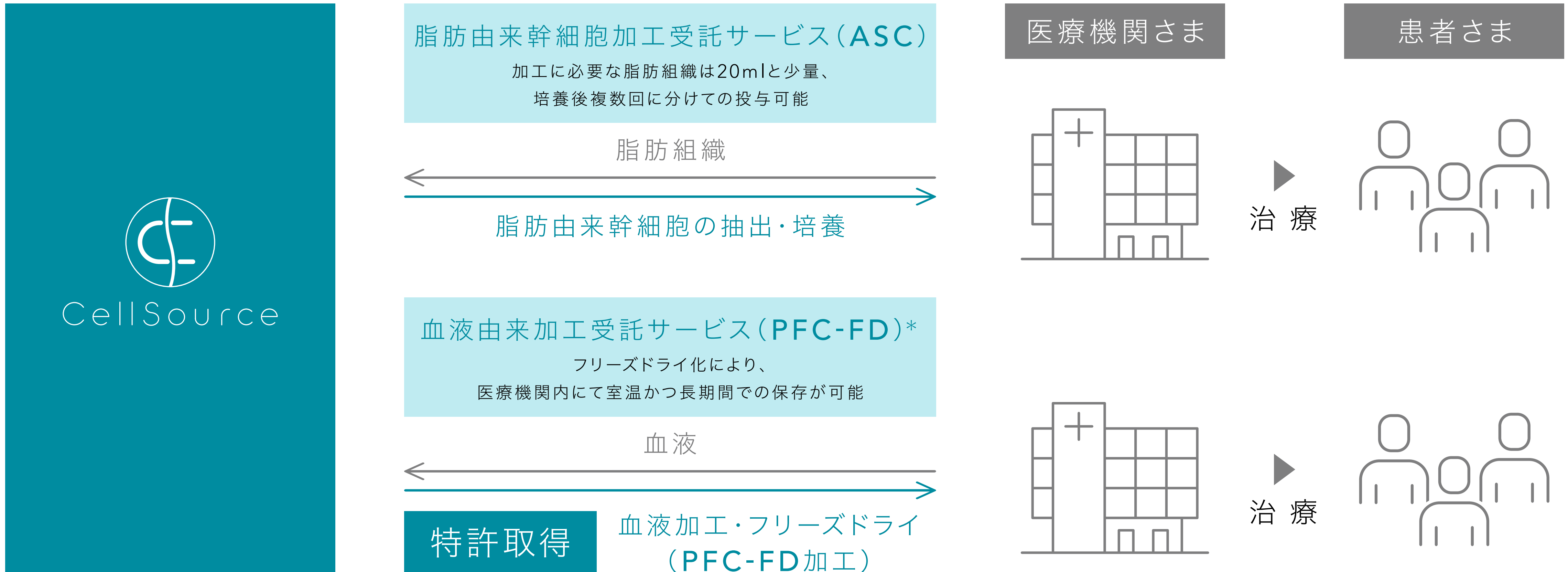
2. 事業内容〔再生医療に関するトータルサポート〕

医療機関が再生医療等を実施するための様々なサービスをワンストップで展開



2. 事業内容〔加工受託スキーム〕

医療機関における初期投資不要、専門人材不要。医療機関は治療に専念



* 当社の血液由来加工受託サービスは、特許取得済みの当社独自技術により多血小板血漿 (PRP) を「PFC-FD」化し、医療機関内にて室温かつ長期間での保存を可能にしております。

再生医療事業の効率的な運営を実現する加工拠点



1検体毎に培養加工を実施



法定3項目の安全性試験を実施

厚生労働省 関東信越厚生局による
特定細胞加工物製造許可施設(施設番号:FA3160006)

特長
1

東京都渋谷区渋谷に位置する都市型CPC

▶ 人材の確保、豊富な物流網

特長
2

必要最低限のコンパクト設計

▶ 固定費減、高い稼働率を実現

特長
3

全て自社で完結する製造・検査機器を整備

▶ 外注等に伴うコストの圧縮を実現



再生医療等法規対応サービス

再生医療を行う医療機関より委託を受けて、医療機関が患者に再生医療を提供する際に必要となる各種申請・届出業務に係る書類作成等をサポートするサービスです。

経営管理支援サービス

医療機関より委託を受けて、KPIによる経営管理手法や人材マネジメント手法の導入及び運営、並びに他の医療機関やアカデミア等との業務提携等をサポートするサービスです。

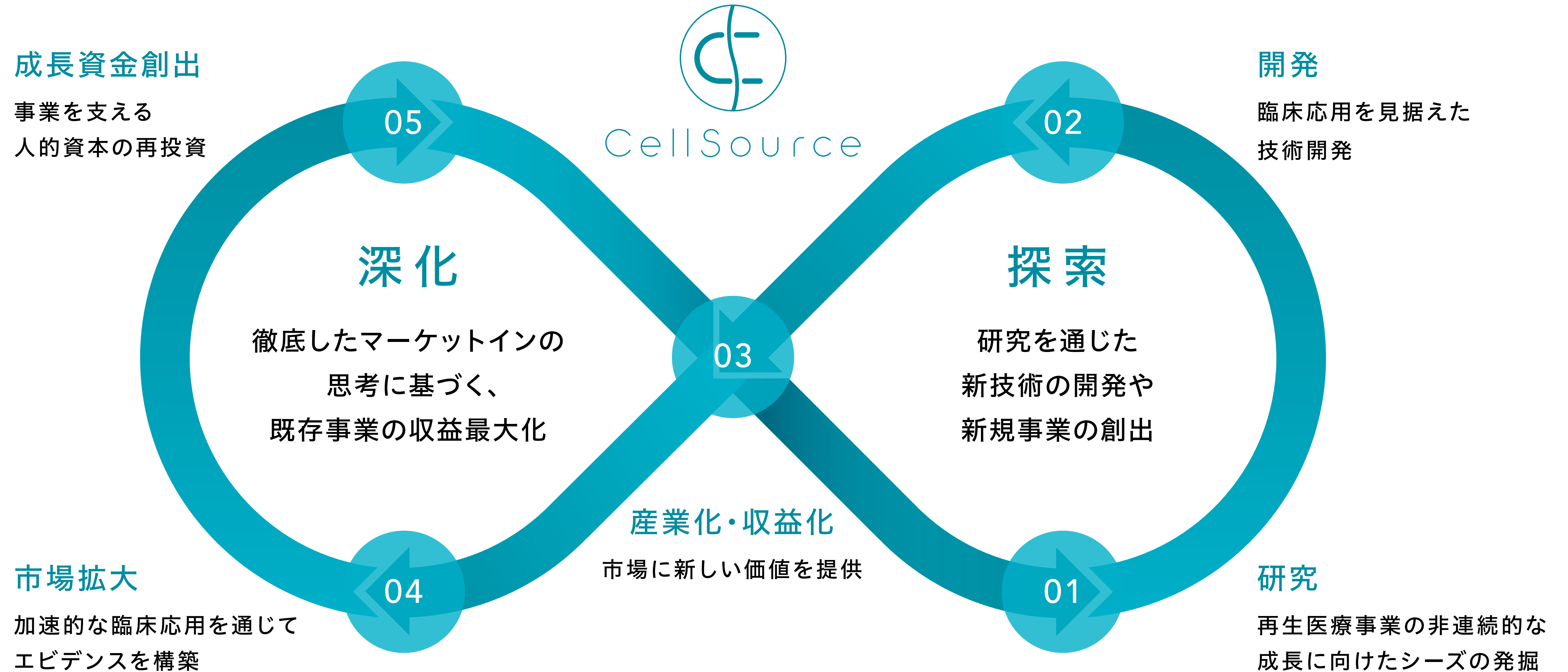


医療機器販売

医療機関の円滑な再生医療の提供を支援することを目的とし、医療機関に対して、患者から血液及び脂肪等の組織を採取するために必要な医療機器を販売しています。

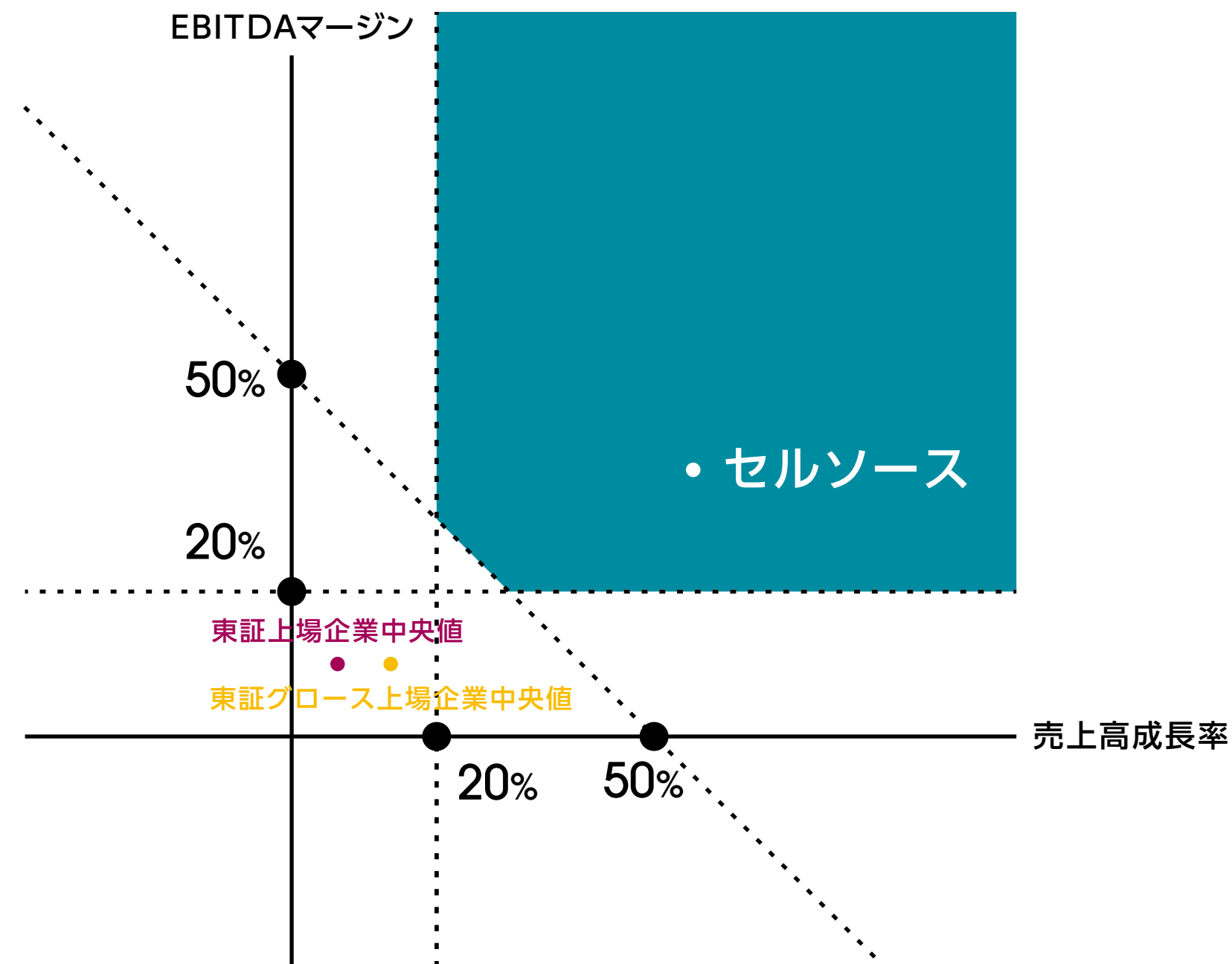
経営・財務に関する方針

非連続的な事業の成長と企業の持続可能性の向上



成長性と収益力の強さを示す独自指標「セルソースグロースレート」

セルソースグロースレート = **売上高成長率** + **EBITDAマージン**



財務目標

- セルソースグロースレート \geq 50%
- 売上高成長率 \geq 20%
- EBITDAマージン \geq 20%

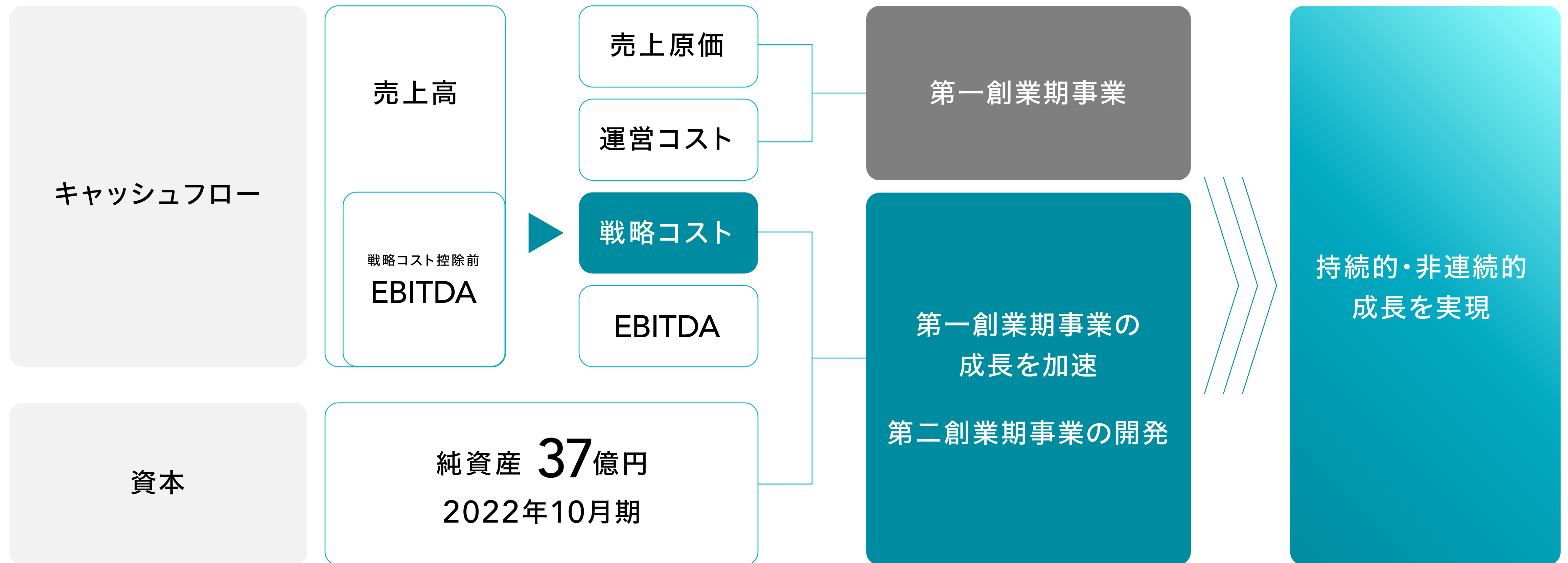
成長性・収益力ともに高い水準を目指す

	2017年10月期	2018年10月期	2019年10月期	2020年10月期	2021年10月期	2022年10月期
セルソースグロースレート	305%	159%	57%	41%	93%	84%
売上高成長率	272%	134%	33%	15%	57%	46%
EBITDAマージン	33%	26%	24%	26%	36%	38%

当社は、HSF経営の実践により高い収益性を維持しながら持続的に成長していくこと目指す中で、重要な経営指標としてセルソースグロースレートを掲げております。本事業年度(第8期)より同指標をKPIに加えてモニタリングする予定です。

2. 事業内容〔 戦略的キャッシュアロケーション 〕

事業から創出されるキャッシュと過去に蓄積してきた資本を、成長戦略に基づき投資



セルソースグロースレートを構成する要素を人的資本KPIに分解し、人的資本経営を推進

$$\text{セルソースグロースレート} = \text{売上高成長率} + \text{EBITDAマージン}$$

売上高

$$= \overset{\text{A}}{\text{人員数}} \times \frac{\overset{\text{B}}{\text{売上高}}}{\text{人員数}}$$

EBITDA

$$= \overset{\text{A}}{\text{人員数}} \times \left(\frac{\overset{\text{B}}{\text{売上高}}}{\text{人員数}} - \frac{\overset{\text{C}}{\text{人的資本投資額 (人件費)}}}{\text{人員数}} - \frac{\overset{\text{D}}{\text{事業コスト}^*}}{\text{人員数}} \right)$$

エンゲージメント

$$= \frac{\overset{\text{E}}{\text{エンゲージメントスコア}}}{\text{人員数}}$$

* 売上原価及び販管費の合計のうち、人件費、減価償却費、無形資産償却費を除いたもの

セルソースグロースレート
 =
 売上高成長率
 +
 EBITDAマージン

	人的資本KPI	KPIの 目指す方向性	定 義	CSGR*への インパクト		E	エンゲージメント スコア 人員数
A	人員数	↑	成長の原資	↑			↑
B	$\frac{\text{売上高}}{\text{人員数}}$	↑	価値生産効率	↑			↑
C	$\frac{\text{人的資本投資額 (人件費)}}{\text{人員数}}$	↑	人に報いる経営	短期 ↓	中長期 ↑		↑
D	$\frac{\text{事業コスト}}{\text{人員数}}$	↓	組織規模に対する経営効率	↑			↑

※ CSGR:セルソースグロースレート

セルソースグロースレート

=

売上高成長率

+

EBITDAマージン

A

成長の原資

人員数

人財採用
人財育成
ワークプレイス
コーポレート
ブランディング

B

価値生産効率

$\frac{\text{売上高}}{\text{人員数}}$

人財育成
研究開発
生産設備
DX
M&A

C

人に報いる経営

$\frac{\text{人的資本投資額 (人件費)}}{\text{人員数}}$

人事評価制度
報酬
能力開発
成長機会

D

組織規模に対する
経営効率

$\frac{\text{事業コスト}}{\text{人員数}}$

技術改良
システム
自動化
DX
ワークプレイス

E

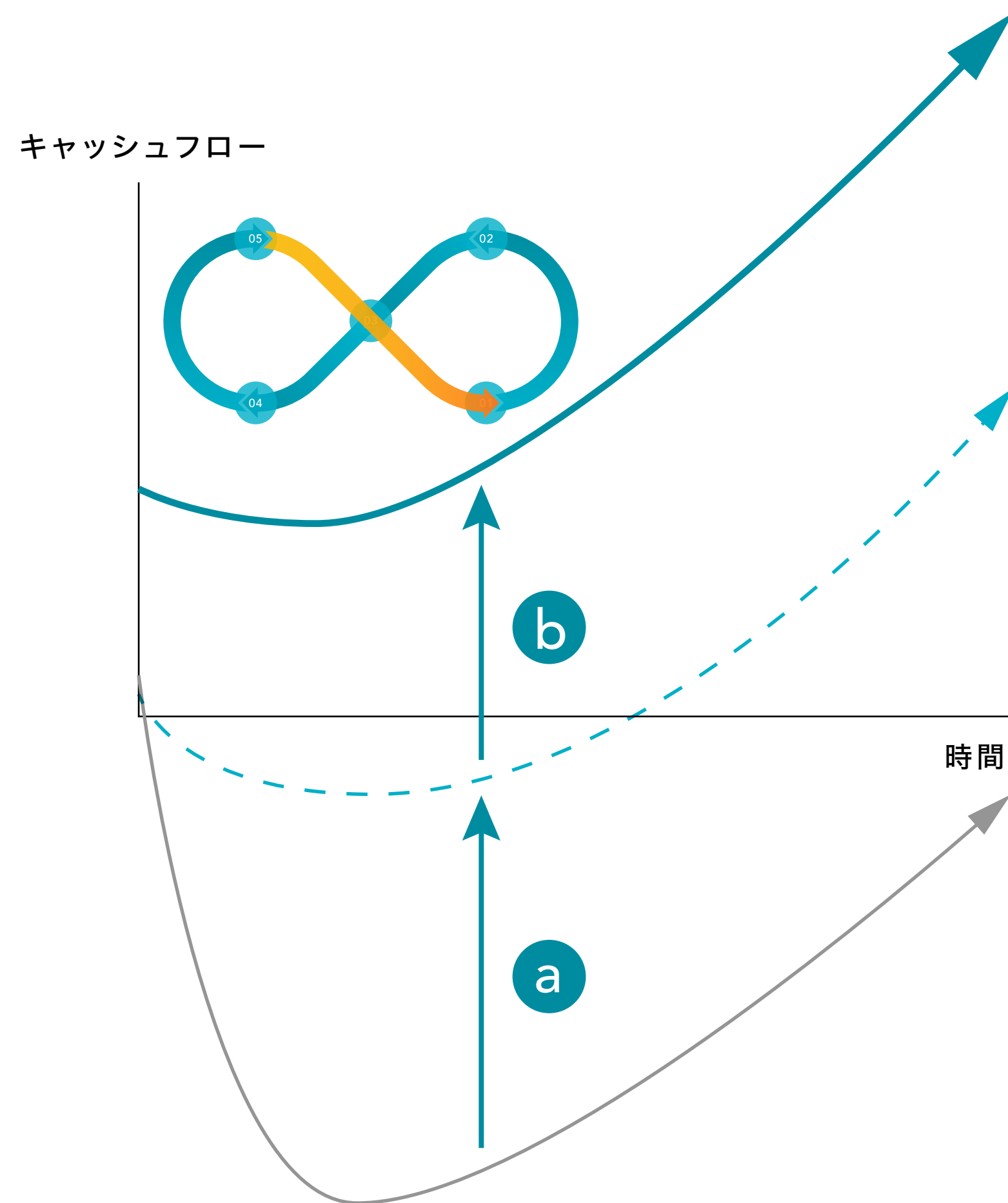
エンゲージメント

$\frac{\text{エンゲージメントスコア}}{\text{人員数}}$

人事評価制度
能力開発
成長機会
ワークプレイス
コーポレート
ブランディング

戦略投資項目

一般的な研究開発型スタートアップとは大きく異なる成長モデルを目指す



一般的な研究開発型スタートアップ

技術ドリブン

収益化までに長い時間を要する

キャッシュフロー
— マイナス

セルソースが目指す成長モデル

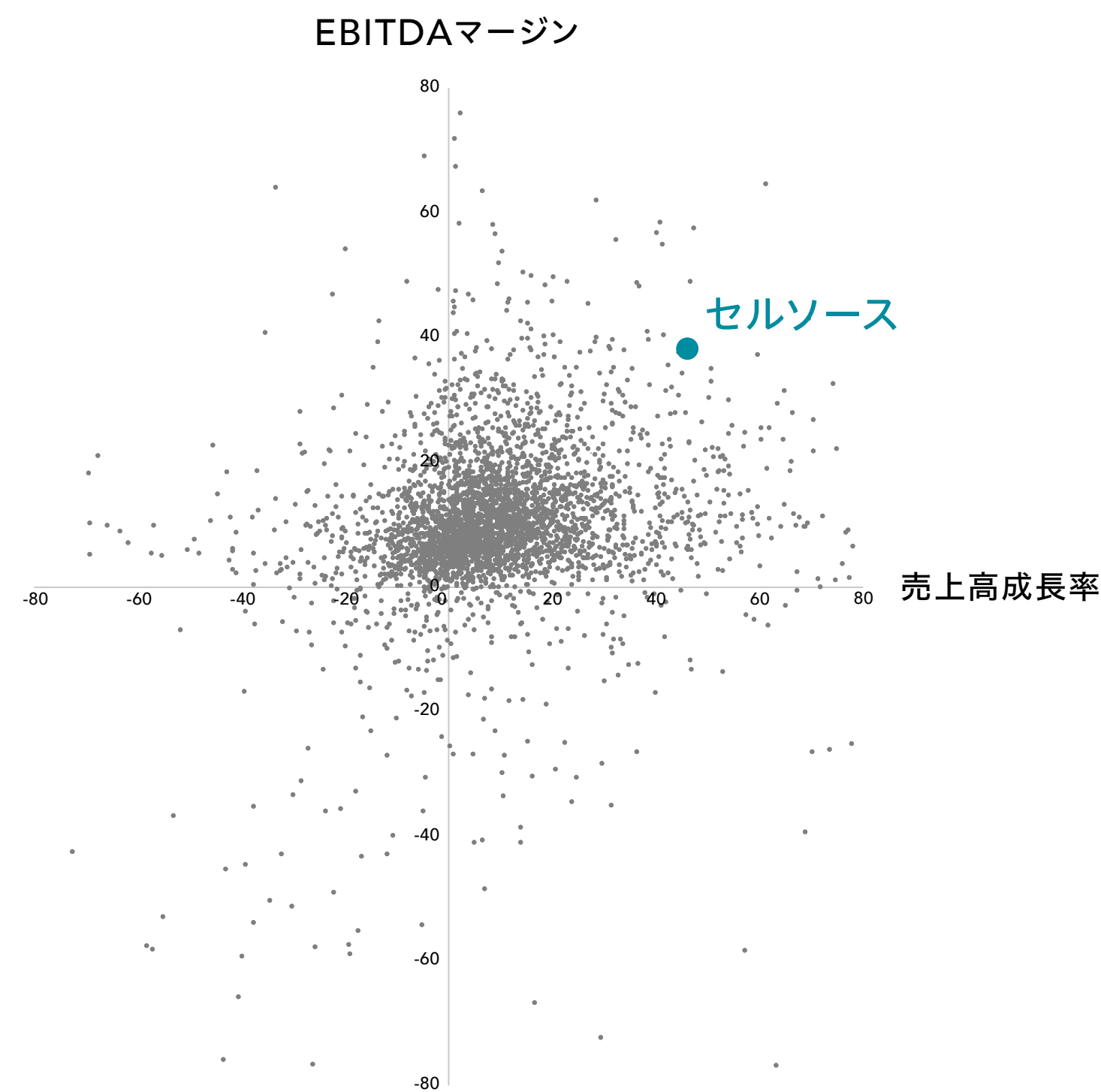
社会課題ドリブン

- a マーケットイン
社会課題を起点とする事業構築により早期収益化を実現
蓄積したアセットの最大活用
第一創業期で獲得した医療機関・人的ネットワークにより圧倒的な速度での開発を実現
- b 強固な収益基盤の拡大
既に収益化している第一創業期事業の連続的成長による収益基盤の底上げを実現

キャッシュフロー
+ プラス

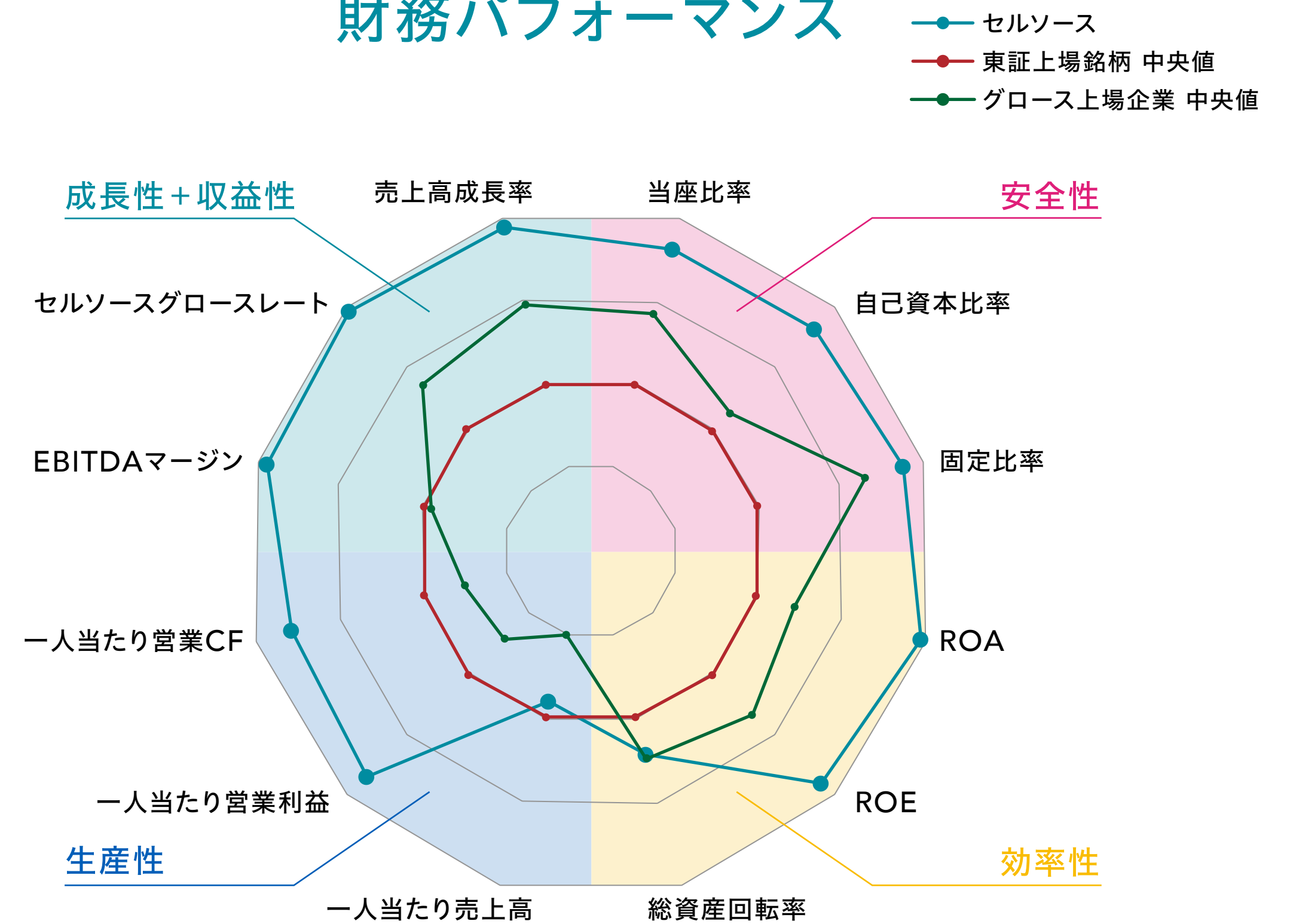
東証上場銘柄の中でも成長性・収益性ととも、各財務指標は高い水準を実現

セルソースグロスレート



東証上場全銘柄を対象とし、SPEEDA提供データを基に当社にて試算

財務パフォーマンス

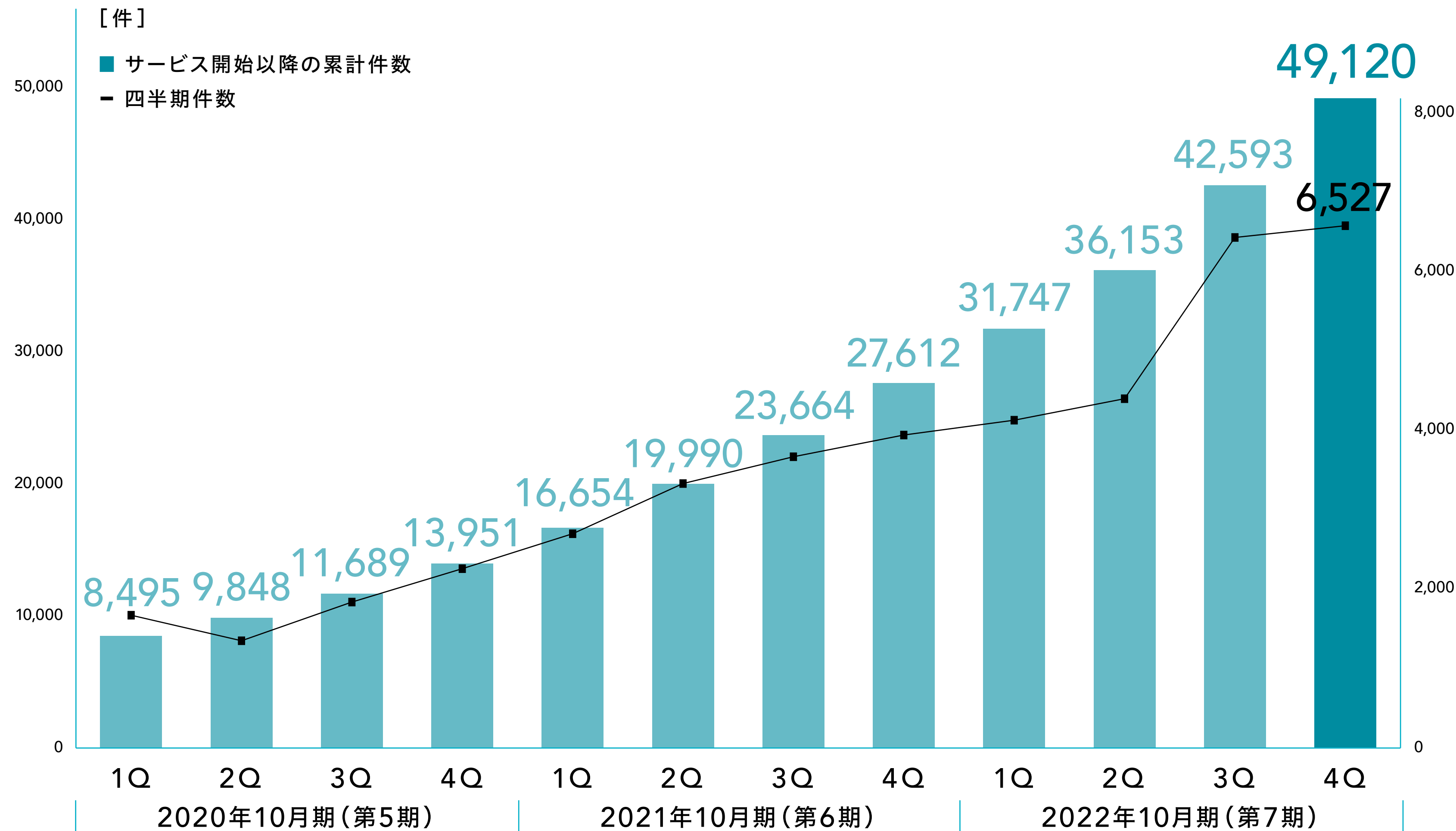


東証上場全銘柄を対象とし、SPEEDA提供データを基に当社にて試算

* 東証上場全銘柄の順位を示す。外側が1位。

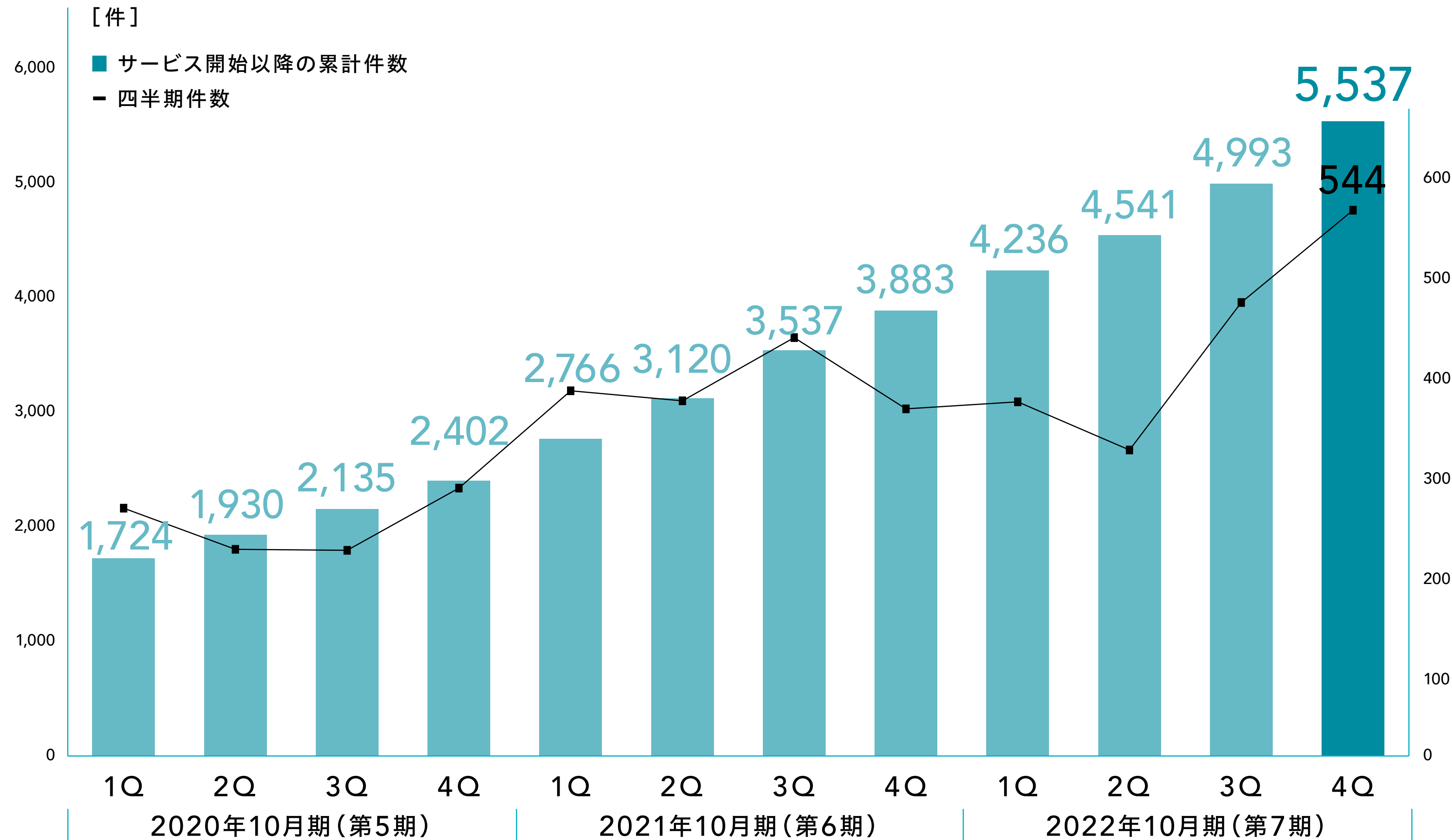
2. 事業内容〔血液由来加工受託数推移〕

10四半期連続で過去最高を更新



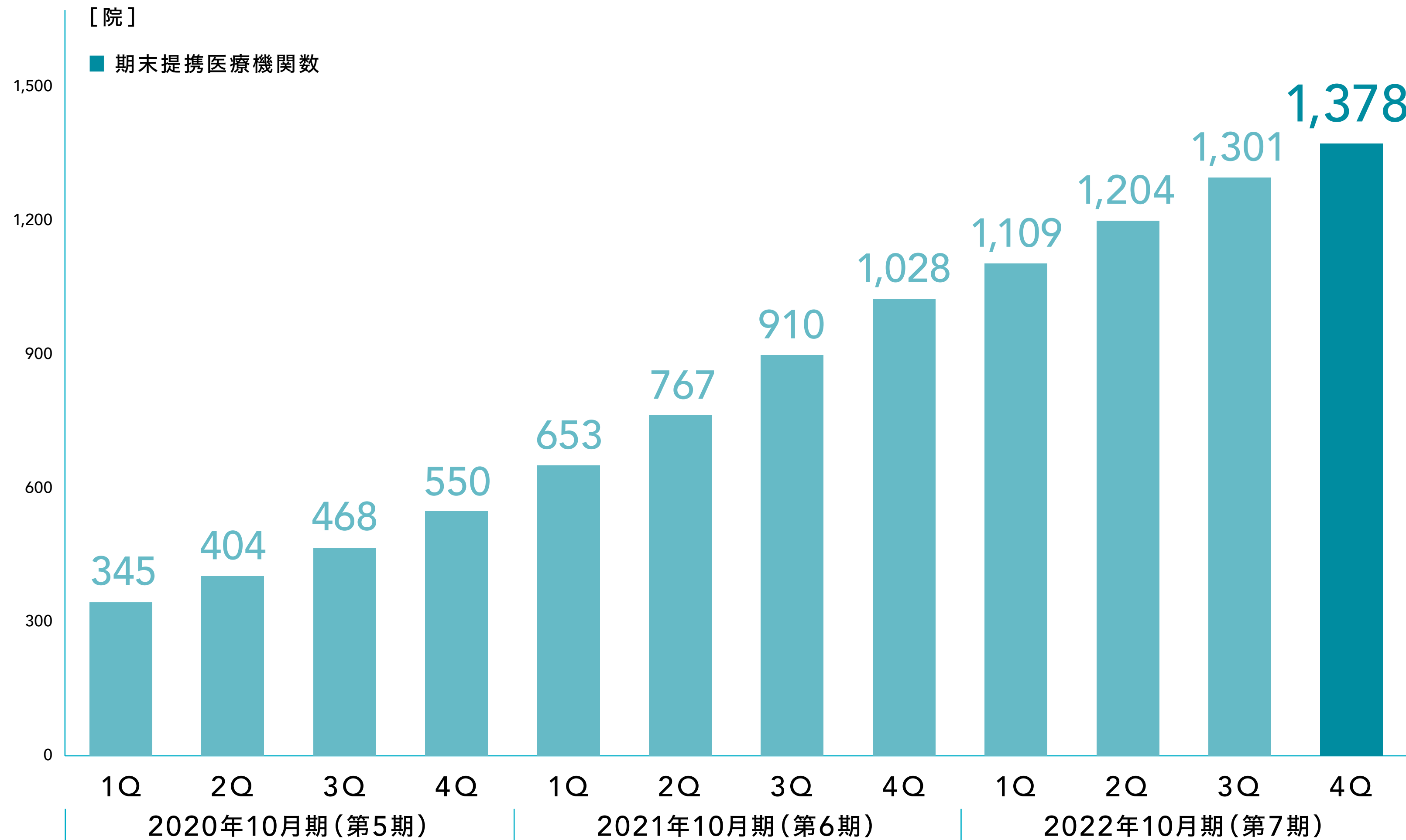
2. 事業内容〔脂肪由来幹細胞加工受託数推移〕

2四半期連続で過去最高を更新



2. 事業内容〔提携医療機関数推移〕

全国に広がるセルソースネットワーク

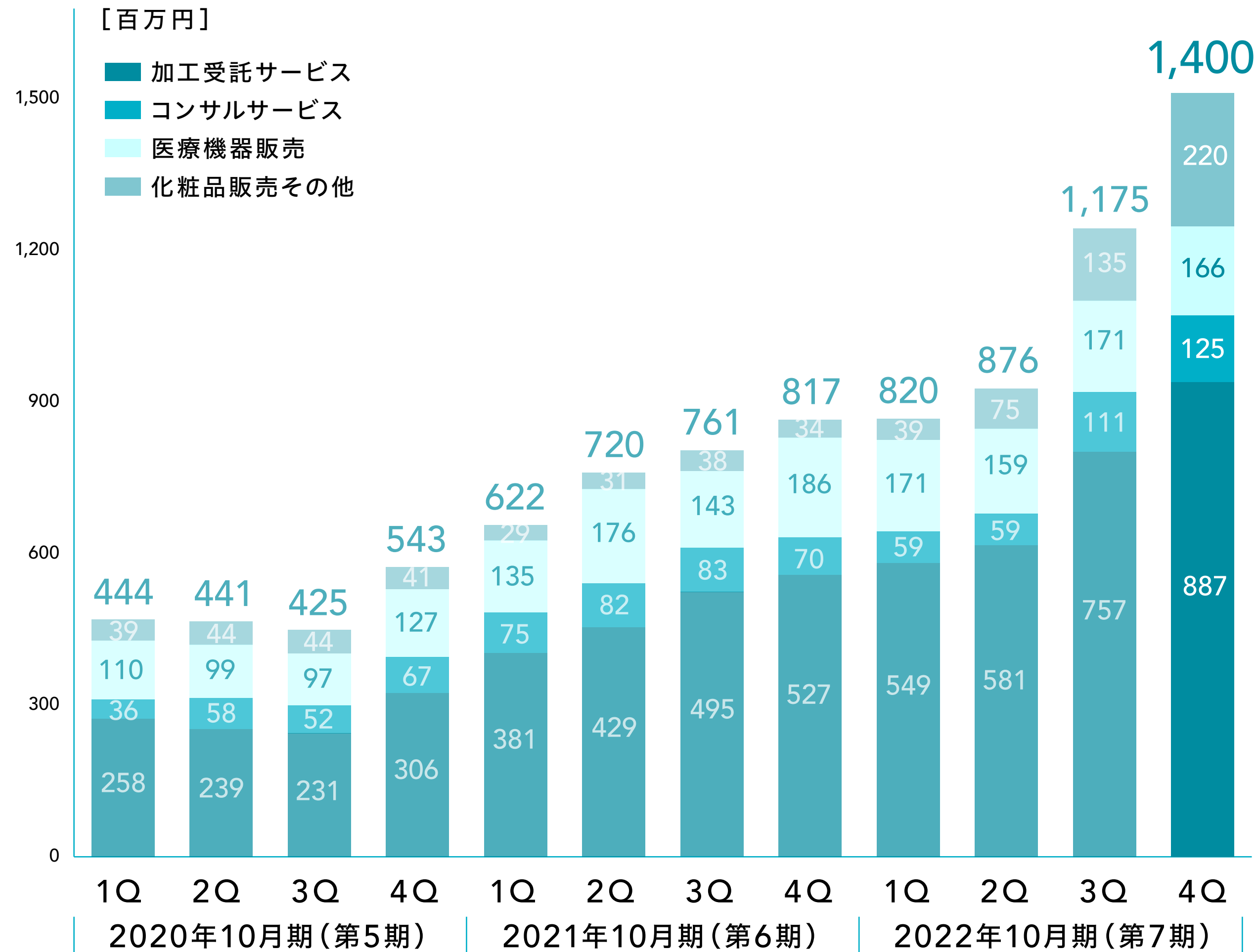


当期末院数 **1,378** 院
(前期末比 +350 院)

前期末院数 **1,028** 院

2. 事業内容（売上高）

大幅な成長を実現し、9四半期連続で過去最高を更新



	前期累計	当期累計	前期比
合計	2,922百万円	4,273百万円 ^{過去最高}	+46%
加工受託サービス	1,833百万円	2,776百万円 ^{過去最高}	+51%
コンサルティングサービス	312百万円	356百万円 ^{過去最高}	+14%
医療機器販売	641百万円	670百万円 ^{過去最高}	+4%
化粧品販売その他	134百万円	471百万円 ^{過去最高}	+249%

2. 事業内容〔業績ハイライト〕

KPIの伸長により、すべてのサービスラインで業績予想を大幅に上回る

[百万円]	通期累計						
	当期	前期	増減	業績予想 (修正後)	達成率	業績予想 (修正前)	達成率
売上高	4,273	2,922	+46%	4,050	106%	3,389	126%
売上総利益	3,064	2,074	+48%	-	-	-	-
売上総利益率	72%	71%	+0.7pt	-	-	-	-
営業利益	1,571	992	+58%	1,336	118%	1,118	140%
営業利益率	37%	34%	+2.8pt	33%	+3.8pt	33%	+3.8pt
経常利益	1,583	1,006	+57%	1,344	118%	1,118	142%
当期純利益	1,017	651	+56%	833	122%	677	150%
血液由来加工受託件数(件)	21,508	13,661	+57%				
脂肪由来幹細胞 加工受託件数(件)	1,654	1,481	+12%				
期末提携医療関数(院)	1,378	1,028	+34%				

2. 事業内容〔2023年10月期 業績予想〕

引き続き高い成長性・収益力を維持するとともに、戦略コストを投下し持続的・非連続的成長を目指す

[百万円]	2022年10月期(実績)	2023年10月期(予想)	前期比
売上高	4,273	5,192	22%
売上総利益	3,064	3,675	20%
売上総利益率	72%	71%	-0.9pt
営業利益(戦略コスト控除前)	1,571	2,006	28%
営業利益率(戦略コスト控除前)	37%	39%	1.9pt
戦略コスト	-	380	-
営業利益	1,571	1,625	3%
営業利益率	37%	31%	-5.5pt
EBITDA	1,632	1,717	5%
EBITDAマージン	38%	33%	-5.1pt
当期純利益	1,017	1,024	1%
セルソースグロスレート	84%	55%	-29.9pt

売上高成長率

+22%

戦略コスト

3.8億円

EBITDA
マージン

33%

セルソース
グロスレート

55%

持続的な成長により中長期的な企業価値の向上を目指すために、2023年10月期以降は、セルソースグロスレート(売上高成長率・EBITDAマージン)をKPIに追加してモニタリングする予定です。セルソースグロスレートを高い水準に維持しながら、積極的に人的資本への投資や事業基盤構築のための投資を適切に進めるほか、未来を変える新たな事業の創出や新たなパートナーとの協業、M&A等多様な戦略を実行していく方針です。



会社概要



事業内容

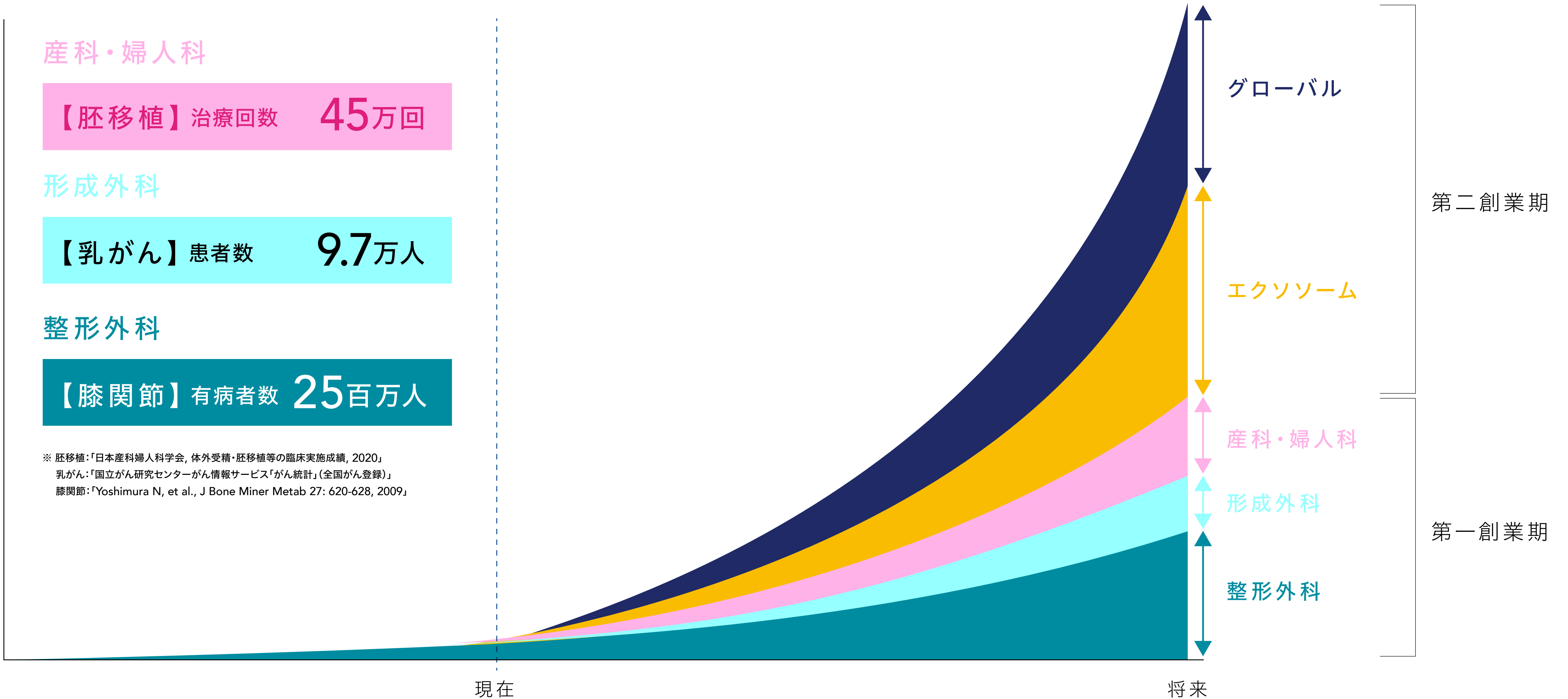


成長戦略



認識するリスク
及び対応策

3. 成長戦略〔第二創業期事業による非連続的成長〕



3. 成長戦略〔成長戦略マップ〕



形成外科領域、マーケティング支援事業、マーケティング支援事業・データ活用事業に関しては、引き続き事業継続をしておりますが、投資判断に影響を及ぼす事業進捗がないことから、記載を省略しております。投資判断に影響を及ぼす進展があれば、適宜、適切な方法で速やかに開示します。

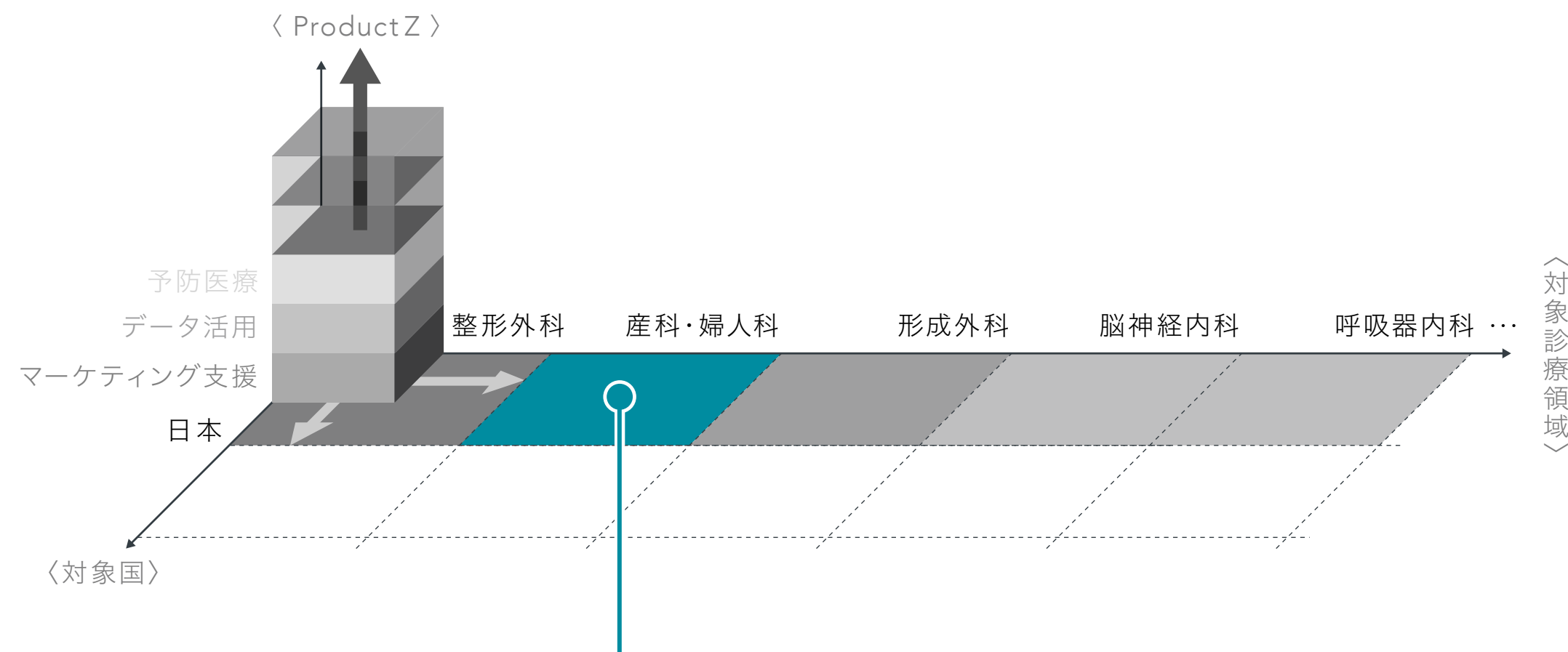
日本初のPFC-FD療法をカバーする

セルソース PFC-FD保険

あなたの未来を強くする



当社が提供する血液由来加工受託サービスについて、約半世紀にわたり女性医療用医薬品の製造・販売を行っており、産婦人科領域における医療機関等とのネットワークと多様な女性疾患に対応する医薬品の品揃えに大きな強みを持っている富士製薬工業と販売支援を行う事業提携に関する契約を締結することにより、産科・婦人科領域における当社サービス展開の加速化を目指します。



女性医療のリーディングカンパニーを目指す
富士製薬工業と事業提携し、
産科・婦人科領域の事業推進を加速化

進捗・達成状況

産科・婦人科領域の提携医療機関数は2023年1月31日現在で200院超となっております。

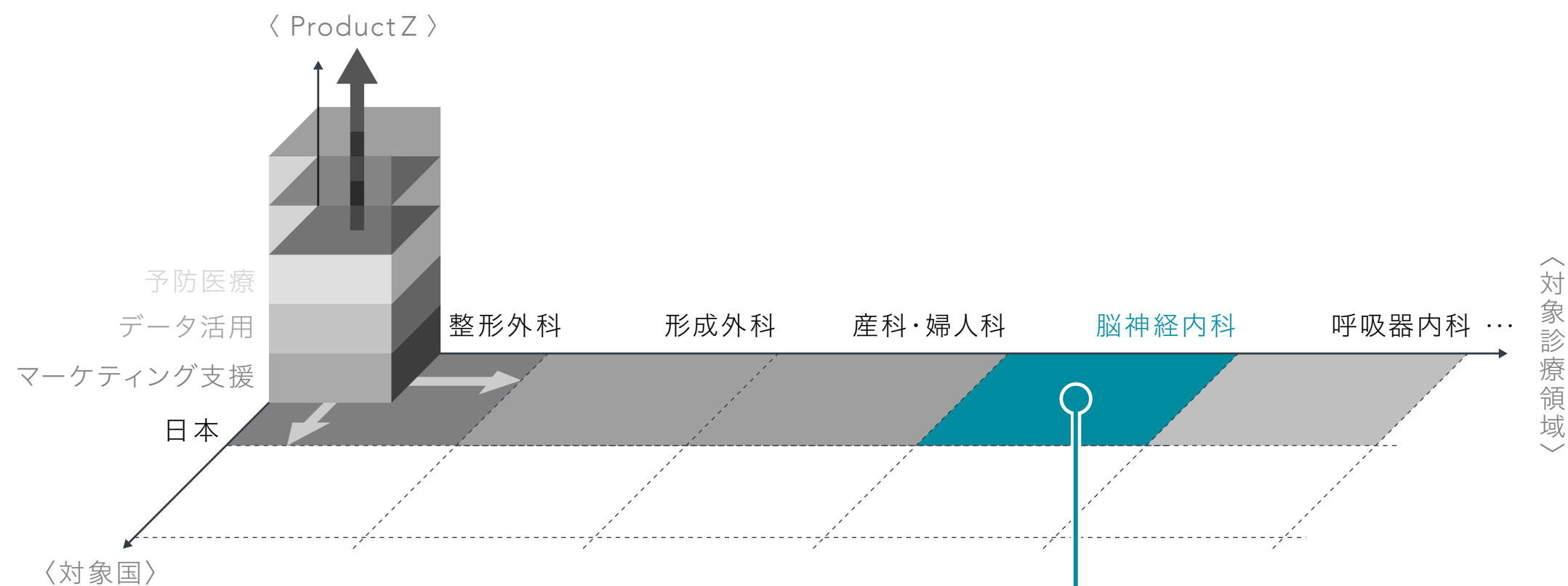


富士製薬工業



CellSource

順天堂大学との共同研究の締結により、脳梗塞後遺症・パーキンソン病に対してセクレトームの治療効果及び作用機序について検証するとともに、臨床応用可能か安全性と有効性の検討を進めてまいります。



順天堂大学と脳梗塞後遺症・パーキンソン病の 治療についての共同研究を締結

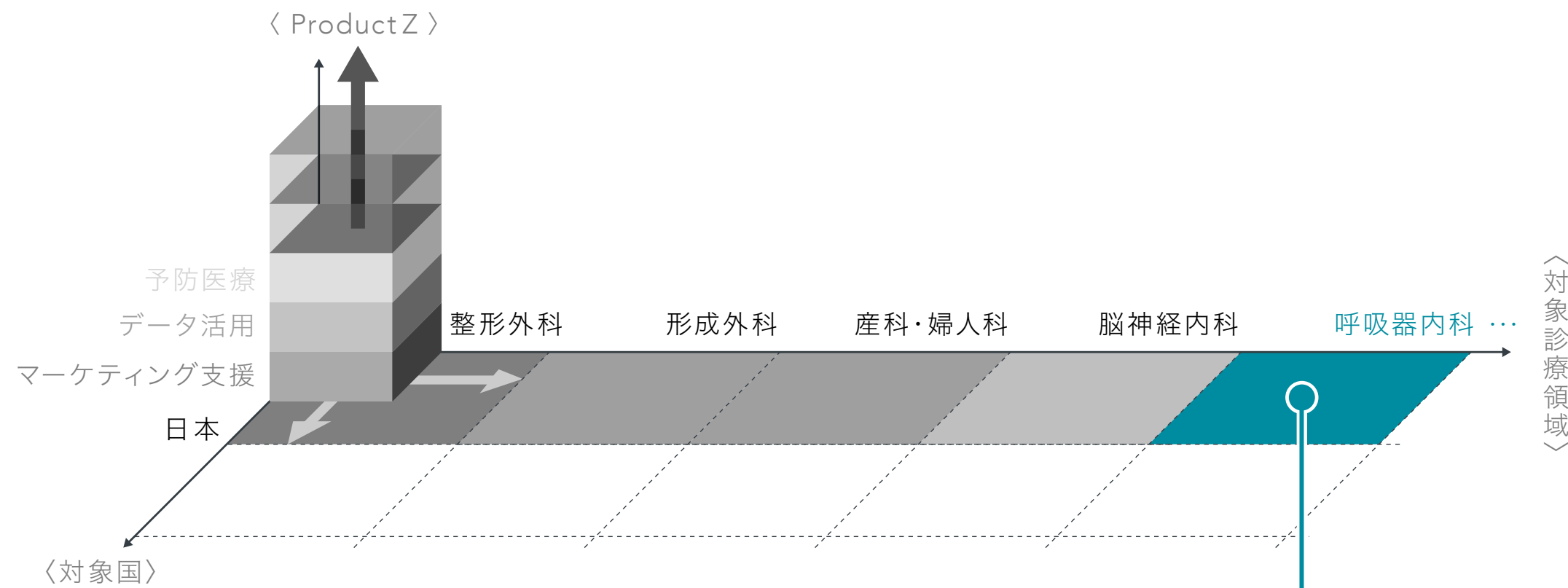
進捗・達成状況

2023年1月31日現在、引き続き順天堂大学と同研究を進めており、投資判断に影響を及ぼすと思われる進展があれば、適宜、適切な方法で速やかに開示します。



CellSource

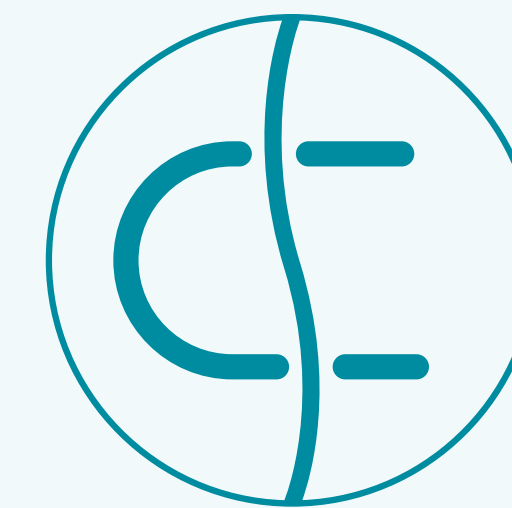
大阪大学との共同研究の締結により、日本国内においても約530万人以上の患者がいると推計され、国際的に対策が重要視されている疾患である慢性閉塞性肺疾患（COPD）の新たな治療方法の確立を目指します。



大阪大学と慢性閉塞性肺疾患（COPD）の 治療についての共同研究を締結

進捗・達成状況

2023年1月31日現在、引き続き大阪大学と同研究を進めており、投資判断に影響を及ぼすと思われる進展があれば、適宜、適切な方法で速やかに開示します。



CellSource

3. 成長戦略〔動物領域へ進出〕

アニコム ホールディングス株式会社との業務提携により、血液加工技術等を利用した動物向け治療法の開発並びに動物向け次世代再生医療の検討および開発等を進める方針です。投資判断に影響を及ぼすと思われる進展があれば、適宜、適切な方法で速やかに開示します。





東証プライム上場企業：8715

成長するペット業界の 圧倒的なインフラプレーヤー

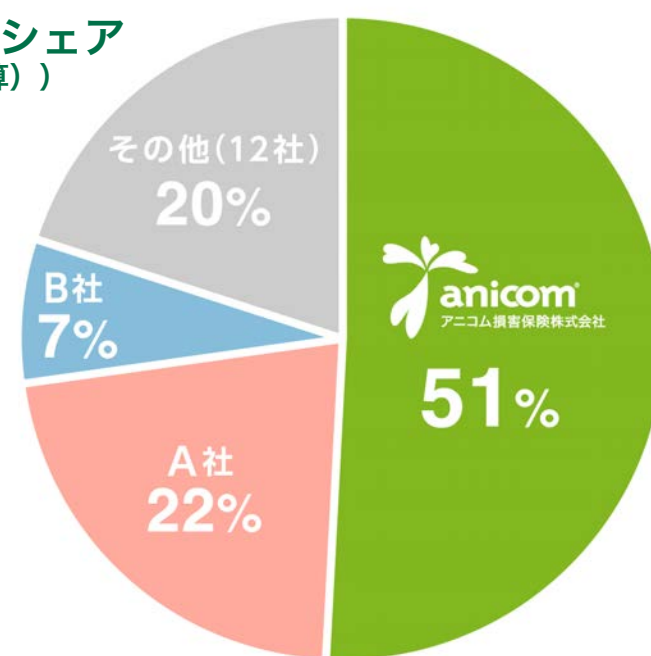
ペット保険

どうぶつ保険のシェア圧倒的No.1
保険契約件数は100万件を超える

ペット保険の市場規模



ペット保険の各社シェア
(保険料ベース (概算))



出典：アニコムホールディングス調べ

動物医療

アニコム
どうぶつ病院グループ

anicom medical
アニコム先進医療研究所株式会社

病院数 **57**院
※2022年4月末時点

先進医療の取組み

動物再生医療技術研究組合*
加入病院数

443院
※2022年4月末時点

*未だ確立されていない飼育動物(イヌ・ネコ)向け細胞治療サービスについて、各プロセスを標準化し、あらゆる診療施設の獣医師が、安全かつ有効な細胞治療サービスを提供できる仕組みの実用化を目的とし、アニコムグループが中心となって立ち上げた産学官の連携を柱に共同研究を行う非営利共益法人。2019年12月10日設立。



会社概要



事業内容



成長戦略



認識するリスク
及び対応策

項目	リスク概要	対応方針	顕在化の可能性／時期	顕在化した場合の影響
<p>法的規制について</p>	<p>当社の行う加工受託サービス及び医療機器の販売に対して、遵守すべき法令及び関連する諸規則に抵触する法的規制リスク</p>	<p>社内管理体制の維持・強化を図ることにより、これら法令に基づく許可・登録の維持、法令及び関連する諸規則の遵守を徹底する経営基盤を構築する</p>	<p>小／不明</p>	<p>大</p>
<p>製造・生産体制について</p>	<p>当社若しくは外部業者の管理不備により規定に反する工程を実施し、その結果、当該加工受託サービスの品質に悪影響を与えるようなケースが起きる場合や、処理能力の増強以上のスピードで医療機関からの委託ニーズが伸長した場合に計画どおりの人材の確保が行えない、または若しくは当社の優秀な人材が流出した場合などの製造・生産体制リスク</p>	<p>受託業務に使用する培地や機器等の改良・増設などにより作業工程の効率化や専門的な知識・技能を有する優秀な人材の採用と育成を進めている他、加工業務の一部を外部事業者へ再委託する事を検討。あわせて、受託件数の増加ペース加速化を想定し加工施設の増設や新設についても検討する</p>	<p>小／中長期</p>	<p>大</p>
<p>研究開発費について</p>	<p>今後の研究方法や具体的な事業化の内容により、将来的に多額の研究開発費を投じるものの、研究開発費に見合うだけの事業化等の成果が得られないリスク</p>	<p>研究開発活動は大学等のアカデミアや他事業者との共同研究を中心に推進することにより研究開発費の増大を抑えるとともに、研究開発費に見合うだけの事業化等の成果が得られるよう適切に検討する</p>	<p>小／不明</p>	<p>大</p>

項目	リスク概要	対応方針	顕在化の可能性／時期	顕在化した場合の影響
<p>特定の取引先について</p>	<p>医療法人社団活寿会（以下、「活寿会」）及び活寿会が運営するクリニックに対する売上依存度は高い水準となっており、何らかの理由で将来、両者の関係が悪化し、あるいは活寿会の経営環境が悪化した場合における取引先リスク</p>	<p>活寿会とは極めて緊密かつ重要な取引関係を築いており、今後もこの関係を維持、発展させる方針であること。また活寿会以外の取引先の新規開拓、取引深耕を図る</p>	<p>小／中長期</p>	<p>大</p>
	<p>当社で販売する医療機器の一部はMedikan Co.,Ltdからの仕入れに依存しているものの、現在において当該医療機器の代替製品は確保できていないことによる取引先リスク</p>	<p>代替品の確保に向けての施策を検討する</p>	<p>小／中長期</p>	<p>中</p>
<p>人材の確保と育成について</p>	<p>当社の代表取締役社長である裙本理人は、当社の創業者であり、設立以来、代表取締役として経営方針や事業戦略の立案・決定及び事業推進において重要な役割を果たしている。何らかの理由により同氏が当社の業務を推進する事が困難となった場合の人材リスク</p>	<p>事業担当取締役や執行役員を配置、人員拡充による権限委譲を進めるなどし、同氏に過度に依存しない経営体制の構築を行っており、今後も優秀な人材の確保・教育に努める</p>	<p>小／中長期</p>	<p>大</p>
	<p>人材の確保・育成が計画どおりに進まない、または優秀な人材の流出等が発生した場合などの人材確保と育成リスク</p>	<p>各部門において優秀な人材の確保と教育を進める</p>	<p>小／中長期</p>	<p>中</p>

本資料は、事業や業績に関する情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的に作成したものではありません。また、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

次回の「事業計画及び成長可能性に関する事項」の開示時期は、2024年1月を予定しております。



CellSource